令和６年度

神戸市立有瀬小学校
10月　臨時号

令和６年４月１８日（木）に全国の小学校６年生と中学校３年生を対象に行われた「令和６年度全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から提供されました。結果を活かし、今後改善を図っていくために、学校としての主な課題とその改善策等をあわせてご報告させていただきます。

≪教科の結果≫

国語・算数の調査結果については、学習指導要領に示された領域別に分析したものを報告させていただきます。

教科	学習指導要領の領域	調査結果
国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと」に対して、課題が見られました。
	情報の扱い方に関する事項	「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと」に対しては概ね良好でした。
	我が国の言語文化に関する事項	「日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと」に対して、課題が見られました。
	書くこと	「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること」に対して、課題が見られました。
	読むこと	「人物像を具体的に想像すること」に対して、課題が見られました。
算数	数と計算	「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること」「除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解すること」「除数が小数である場合の除法の計算をすること」に対して、課題が見られました。
	変化と関係	「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること」「速さの意味について理解すること」に対して、課題が見られました。

≪児童質問紙調査の結果≫

「自分には、よいところがあると思う」「友達関係に満足していますか」という質問に対して、肯定的に答えた子供の割合が高く見られました。

平日と週末の両方で、「学校の授業時間以外に、勉強をする時間が少ない（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」「テレビやパソコン、携帯電話でのゲームや動画視聴をする時間は長い」と答えた子供の割合が高く、学習への取り組み方に課題が見られました。

≪今後の改善策≫

- 結果について全職員で共通理解を図り、各学年の学習内容を系統的に見通し、子供たちにつけたい力を意識して教育活動に取り組んでいきます。
- 家庭学習に取り組みやすくするために、「じぶん学習」の在り方を見直し、子供たちが主体的に学習に取り組めるよう支援し改善に取り組んでいきます。
- GIGA 端末等の ICT 機器を積極的に活用し、子供にとってよりよい授業を目指します。

今後とも，本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りますよう，よろしくお願い申し上げます。